

2026.03

ヘルメット取付資料

B+COM
7X EVO

×

OGK KABUTO
EXCEED-2



取付前の準備

1. 取付準備

OGK KABUTO ヘルメット「EXCEED-2」のB+COM 取付方法をご紹介します。



2. B+COM の準備

B+COM1 キット分を用意します。



3. パッド取外し

ヘルメットのチークパッドとイヤークップを取外します。

※内装の脱着に関しては、ヘルメットの取扱説明書をご参照ください。

※内装は KAMUI-5 のものですが同様です。



スピーカーの取付

4. 調整パッドの活用

耳とスピーカーの隙間を調整することで、本来の音量、音質が得られます。

※調整パッドをご使用してください。

耳が押されて痛い場合は外してください。



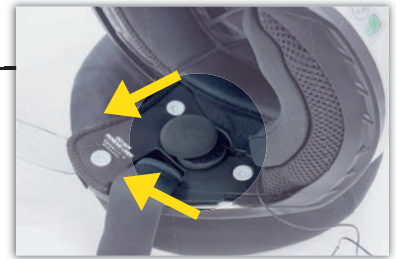
5. 面ファスナーの活用

イヤークリップ部に取付けられている面ファスナーで取付けは可能ですが、固定力が不足する場合は、「スピーカー固定用面ファスナー」の使用してください。



6. 右側スピーカー取付け

スピーカーを取付けます。イヤースペースにそのまま合わせるのではなく、**できる限りヘルメット前方、チンストラップの根元側へ寄せるのがコツ**です。



7. スピーカー配線 1

ヘルメット後方右側のホックを外し、配線をホックの内側に通します。



8. スピーカー配線 2

ヘルメット後方左側のホックを外し、配線をホックの内側に通します。



9. 左側スピーカー取付け

スピーカーの左耳側を取付けます。



ハイブリッドアームマイクの取付け

10. マイクスポンジ取付け

マイクスポンジを装着します。

※マイクスポンジは必ず取付けてご使用ください。風切り音を軽減します。
※マイク根本の突起がある面が集音面です。



11. 貼付け位置の確認

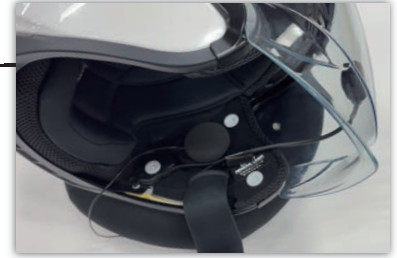
マイク用面ファスナー、マイクを仮置きして貼付け位置を決定します。

マイクとホックが近い場合、ホックが外れやすくなる恐れがあります。

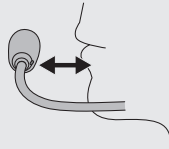


12. マイク取付け

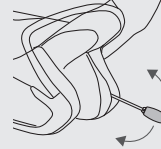
マイク用面ファスナーを貼付け後、マイクをヘルメットに取付けます。



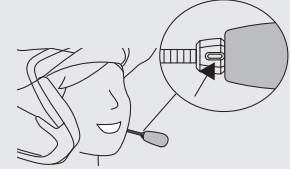
マイク取付けの 注意点



・マイクは1~2cm離れたところに設置



・口元に合わせる際は無理に曲げたり引っぱりすぎないようにしてください。落下の原因となります。



・マイクの突起を口元と向い合わせてください。

マグネットクレードルの組立て

EX1. マグネットクレードルの用意

マグネットクレードル本体、保護ラバー、ワイヤークリップを用意します。組立にはドライバー No.1 が必要になります。



EX2. ワイヤークリップホルダー取外し 1

ドライバーを使用して、ワイヤークリップホルダーを固定しているネジを1箇所外します。



EX3. ワイヤークリップホルダー取外し 2

ワイヤークリップホルダーを取外します。



EX4. 保護ラバー貼付け

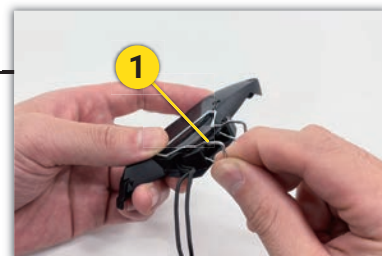
貼付部の角に合わせてながら、保護ラバーの大きをそれぞれ貼付けます。

※貼付ける前に、パーツクリーナーなどで貼付箇所を脱脂してください。



EX5. ワイヤークリップ差込み 1

ワイヤークリップの①側をヘルメット後方側の穴に差込みます。



EX6. ワイヤークリップ差込み 2

ワイヤークリップの②側をヘルメット前方側の穴に差込みます。



EX7. ワイヤークリップ差込み 3

①と②を同時に押込みます。



EX8. ワイヤークリップホルダー固定

ワイヤークリップホルダーを取付け、ネジを締めて固定します。



EX9. 完成

ワイヤークリップホルダーが浮いていたり、ガタつきがないか確認してください。



マグネットクレードルの取付け

12. マグネットクレードル取付け 1

帽体の左側面に、ベースプレートを斜めに差込みます。



13. マグネットクレードル取付け 2

差込んだベースプレートを回転させ、ヘルメットのフチに当たるまで奥に押し込みます。

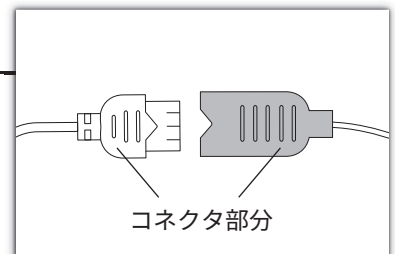


配線方法

14. スピーカー、マイクコネクタの接続

コネクタの端子の凹凸の向きに注意して、それぞれのスピーカー、マイクコネクタを接続します。

※コネクタを接続する際はケーブルを引っ張らず、コネクタ部分を持って抜き差しを行ってください。



15. チークパッド取付け 1

各配線に無理な負担がかかったり、噛み込んだりしないよう注意し、左右それぞれチークパッドを差込みます。



16. チークパッド取付け 2

ケーブルをホックで挟み込んだり、折れたりしないよう注意し、ホックをとめます。



本体の取付け

17. 本体ユニットの取付け

本体を取付けて完成です。

※取付け後は本体とクレードルの間に隙間やがたつきがないことを確認して下さい。

